



## 産学連携: 上智大学との連携講座(パラスポーツ関連科目)を今年度も開講!

2021年4月26日

MS&ADインシュアランスグループのあいおいニッセイ同和損害保険株式会社(社長:金杉 恭三)は、上智大学において、全14回の連携講座「パラアスリートと考える障がい者スポーツと共生社会」を春学期より開講しました。

### 1. 背景

当社は、スポーツ振興、とりわけ障がい者スポーツ支援を通じて共生社会に資する取り組みを全国展開しています。また、上智大学では、「他者のために、他者とともに」の教育精神に基づく教育を行っており、両者は、共生社会の構築に向けた人財育成という共通の理念を有しています。

2018年より学生教育に資する協働取り組みを具現化するため、上智大学に連携講座を設置し、今年度で4年目を迎えました。連携講座の設置以外にも、当社と上智大学などを運営する学校法人上智学院は、2018年9月に包括連携協定を締結し、2020年度には上智大学に「多文化共生社会研究所」を共同で設立し、新たな産学連携の一步を踏み出しました。

### 2. 講座概要

2021年度の授業は全14回のうち、対面6回、オンデマンド8回で実施します。2020年度の学生による授業評価は4.7(5段階)と高評価であり、履修の登録倍率も約8倍の人気講座です。

また、最終講義では、当社社長の金杉 恭三が講師を務めます。

講座名	パラアスリートと考える障がい者スポーツと共生社会
テーマ	パラアスリートとパラスポーツの現状を学ぶことにより、共生社会構築に向けて何が必要かを考え、レガシー創造の契機とする
開講期	2021年度春学期(全学部生が履修可能) / 2単位 / 定員170名
講義日	毎週火曜日 4限(15:25~17:05) 全14回
担当教員	谷口 広明(上智大学文学部保健体育研究室講師) 倉田 秀道(当社経営企画部担当次長/上智大学客員教授(非常勤))
内容	共生社会構築に向けて、その基礎となるパラアスリートと障がい者スポーツを取り巻く情勢について事例を示しながら臨場感のある講義をすすめます。 本講座ではスポーツの「みる」「ささえる」という視点を中心に、あらゆるアプローチにより障がい者スポーツと共生社会について考える場とします。
ゲスト講師	2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会 理事 大日方 邦子 氏 東京都オリンピック・パラリンピック準備局 次長 延與 桂 氏 パラアスリート数名 ほか

### 3. 授業計画（シラバス）

日程	授業テーマ	担当教員
第1回 4/13	・ガイダンス（連携講座開講の趣旨、講義のすすめ方等）	谷口、倉田
第2回 4/20	・パラアスリートの活動～競技の現場から～	谷口、倉田
第3回 4/27	・オリンピックアスリートの活動～競技の現場から～	倉田
第4回 5/11	・パラスポーツとスポーツ科学	日本スポーツ振興センター
第5回 5/18	・パラスポーツと共生社会	谷口、倉田
第6回 5/25	・企業、自治体等によるパラスポーツ支援の現状と課題	倉田
第7回 6/1	・パラアスリートからみたパラリンピック	倉田、 パラアスリート
第8回 6/8	・競技団体からみたオリンピック・パラリンピック	倉田
第9回 6/15	・スポーツマネジメントから考えるオリンピック・パラリンピック	倉田
第10回 6/22	・マスメディアとパラリンピック	NHK 放送文化研究所
第11回 6/29 【公開講座】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多文化共生社会研究所共催シンポジウム &lt;登壇者&gt;</li> <li>・あいおいニッセイ同和損保 倉田 秀道</li> <li>・2020 東京オリンピック・パラリンピック大会組織委員会 理事 大日方 邦子 氏</li> <li>・東京都オリンピック・パラリンピック準備局 次長 延與 桂 氏</li> <li>・パラリンピアン（パラ陸上） 廣道 純 選手</li> <li>・上智大学 SOPP 担当 久田 満 教授 ※登壇者は現時点での予定</li> </ul>	谷口、倉田
第12回 7/6	・個人調査発表 「自分なりの提言 part1」	谷口、倉田
第13回 7/13	・個人調査発表 「自分なりの提言 part2」	谷口、倉田
第14回 7/20	・最終講義：まとめ（当社社長の金杉 恭三が講師を務めます）	谷口、倉田

### 4. 今後の展望

当社は、今後もアスリートのスポーツ活動を応援するとともに、スポーツを通じた共生社会の実現を目指し、人財育成・教育支援の活動につなげていく所存です。

以上

当社は、社会との共通価値を創造し、目指す社会像である「レジリエントでサステナブルな社会」を実現するため、SDGs（持続可能な開発目標）を道しるべとし、地域の皆さまに貢献する活動を行ってまいります。



主に貢献している SDGs 目標

